

# 3月3日 テーマ：人を差別してはならない

## 聖書箇所：ヤコブの手紙2章 1～13節

### ◆今日のみことば

私の兄弟たち。あなたがたは私たちの栄光の主イエス・キリストを信じる信仰を持っているのですから、人をえこひいきしてはいけません。  
ヤコブの手紙2章 1節

### ◆メッセージ

私たちは、見た目でお友だちを判断してしまうことはないでしょうか？

このヤコブの手紙が書かれた時代の教会で、ある出来事(2:2-4)が起きました。

金の指輪をはめりっぱな服装をした人と、みすぼらしい服装をした貧しい人が教会にやってきました。すると教会の人たちがりっぱな服装をした人に目を留めて、「あなたは、こちらの良い席におすわりなさい」と言いました。そして、貧しい人には、こう言いました。「あなたは、そこで立っていないさい。でなければ、私の足もとにすわりなさい」と。人を見目で判断し、差別してしまう出来事が起きたのです。お金を持っている人を大事にし、貧しい人は、ぞんざいに(投げやりで乱暴に)扱うということを、その教会の人たちがしてしまいました。

皆さんは、今日の聖書の出来事を読んでどう思いましたか？「へえ～っ、昔の教会のクリスチャンたちにもえこひいきがあったんだ！」あるいは、「天の神さまは、私たちみんなを同じように愛してくださっているのに、どうして？」…と思ったお友だちもいることでしょう。でも、私たちの中にも、知らず知らずのうちに、分け隔てすること、えこひいきすること、差別することがたくさんあるのではないのでしょうか？

1節に、「あなたがたは私たちの栄光の主イエス・キリストを信じる信仰を持っているのですから」とあります。イエスさまがお生まれになったとき、まず貧しい身なりの羊飼いたちが、そして立派な身なりをした博士たちが、つまりこの世での立場は違う人たちが、なんの区別なく救い主イエスさまを礼拝したのでしたよね。私たちは、みんな神さまの前に同じ人間です。私たちには、「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」という最高の律法が与えられているのでしたよね。それなのに、お金持ちの人と貧しい人を分け隔てする、えこひいきする、差別することは、神さまの喜ぶことではありません。イエスさまを信じている人は、イエスさまからの愛をいただいているのです。だから、どんな人に対しても自分自身のように愛すること、それが、神さまが私たちに望んでおられることです。どんなお友だちにも分け隔てなく、えこひいきすることなく、差別することなく神さまからの愛を実践できるようにお祈りしましょう！ まずは、どんなお友だちにも、いつもにっこり挨拶できるといいですね。



### ◆お祈り

神さま、私がいつも分け隔てなく、えこひいきすることなく、差別することなくイエスさまの愛を実践できるようにしてください。  
(南柏聖書教会伝道師 菊池真恵美)